

巻 頭 言

経営情報学部長
鈴木直義

『文理融合・多分野融合』を具現化することは永遠の到達目標に感じるほど難しい。

まず、高校生にとっては受験戦略的に相容れないだろう。当然学部学生も明確に理解して入学してきたわけでもなく、例えば面接を切り抜けるためのキーワード程度であろう。

大学教育の場でこそ実体化する使命があるはずであるが、もともと『専門』に注力を限定する戦略で現在のポジションを手に入れてきた多くの教員がほとんどで、はじめから多分野を視野に入れて自らを鍛えてきた教員は希有であろう。

しかし、この状況下でもそれを言い続けること無くして、学問のどの分野においても裾野を広げることなく、ひたすら細分化して『専門』の蛸壺に隠れたがる傾向に歯止めをかけ、目先の即戦力を求める現実社会の要請とやりに異を唱える有効な手段はあるまい。

26年前の学部創設以来受け継がれてきた学部理念－昨今の我が国の大学に対する社会の厳しい目を見ると、その先見性を今更ながら痛感する。